

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	1MF-2203
研究課題名	SDGs 実現に向けたフォローアップ・レビューのガバナンスに関する比較研究
研究実施期間	2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
研究代表機関名	（公財）地球環境戦略研究機関
研究代表者名	天沼 伸恵

1．評価結果

評価ランク：A

2．委員の指摘及び提言概要

当研究は、SDGsを対象とした研究の中で、時機を得た実装性のある政策提言研究の一つの姿として、国家間のスピルオーバー、ゴール間のトレードオフ、自治体におけるSDGs未来都市計画の構築についての課題と方法の提案など、優れた成果を発出している。国内外への具体的なガイダンスを成果としてできており、フォローアップ・レビュー（FUR）提言としての政府の受入れ可否項目やポストSDGsへの課題が明示されている。欧州だけでなく、インドネシアも研究対象に入れられたことは評価できる。先進国対途上国、経済対環境などのトレードオフについても今後さらに検討されることを期待する。SDGs全体へのFURに関する提言としての成果は十分だと評価するが、推進費における研究として環境分野に焦点当てた具体的な成果の整理も行われることが望ましい。また、我が国・自治体でのVNRやVLR作成が進むかについてのボトルネック解析も今後進めてほしい。